


## 1. 企業概要 (305号室)

会社名	株式会社ピーカブー						 EPOCHAL	
所在地	〒351-0104 埼玉県和光市南2-3-13 和光理研インキュベーション305							
代表者	松成紀公子	資本金	1000万円	従業員	3人	設立	2002年04月	
URL	http://www.epochal.co.jp/			連絡先	TEL 048-458-3015 E-Mail office@epochal-uv.com			
事業内容	光線過敏症のための紫外線対策製品、学校現場で使用する機能性の高いUV対策製品の企画・開発・販売・OEM							

## 2. PRポイント

## 予防医学的紫外線対策ウェアで肌の健康と環境を守る

「アパレル」の枠を超え、特殊なUV領域をカットする素材と、機能性デザインで「予防医学的UVカットウェア」を目指したブランド(エポカル/EPOCHAL)を構築。日本を代表する紫外線対策ウェアブランドとして、難病XP、白皮症、日光アレルギー、やけど、アトピー、ケガ、がん治療後などだけでなく、広く一般の方々にもサンスクリーン剤を使わない環境にやさしいUVカットウェアを提供。酸化チタン練り込みの繊維をすべての製品に使い、自社規定を他社より高く設定。オーストラリアの環境省に当たるARPANSAより紫外線対策ウェアブランドとして、企業認証を取得。UV防護服で世界の難病の生活を支える活動をするため発信を開始。他社と新素材の開発研究中。



日本学校保健会推奨用品に、簡易ヘルメット入り3WAYUVカット制帽が加わりました。実用新案の取得。「登録新案第3242951号」取得。和光市内の2校の小学校、インターナショナルスクール1校幼稚園1園に導入され、今後全国への展開を行います。



## — 肌の健康と頭部の安全

子どもの未来を守る  
制帽・校帽

クロミック素材を使用した紫外線に反応して変色するファスナートップで、子供たちへの啓蒙活動を行い、小学校・幼稚園やノルディックウォーキングの会などで「紫外線対策講座」も行ってあります。

2020年は、LAの名門大学USCの大学院に依頼したマーケティング結果を用い、2024年1月にJETRO J-StarXプログラムでシリコンバレーにてプレゼンを行いました。難病や光線過敏症のためのUV防護服を世界に発信していきます。

## 3. 特記事項



難病・色素性乾皮症のための防護服



理研インキュベーションプラザ内では、難病である色素性乾皮症患者(=XP)のための防護服を作るために理研の研究者・科学者・皮膚科医の指導をいただき、紫外線測定器を購入。素材の検査を重ね製品の企画・製造を行いました。さらに、新たな素材の研究をしていきたいと考えています。

